

第2回作業部会（3月18日）の意見と修正案での対応

項目	意見	対応	修正ページ
全体構成	課題と検討の共通している理念と具体的な空間の整備方針について分けて記載したほうが分かりやすい	整備理念を「共通事項」、具体的な記述については、「空間デザイン」で整理しました	P10～15 3(1)、(2)
	検討内容を「今まで」と「今後」で分けて記載しているが、内容が重複する部分が多く、最終報告を見据え、課題に対する検討として整理すること	「今まで」と「今後」で分けずに「検討内容」としてまとめ、対応すべき「課題」を並べ、「課題→検討内容」と整理しました	P10～21 3 共通
現状課題	全国的な校舎の老朽化が進行している状況も記載する	「はじめに」の中で、全国の状況を記載しました	P1 1(1)
	文部科学省の学校環境衛生基準（温度）について記載すること	現状と課題の中で、学校衛生基準が変更されている旨、記載しました	P4 下段
	施設整備に係る将来的な費用と現時点の予算の乖離の状況について記載すること	将来的な費用については、個別施設計画の策定を進める中で算出が可能であり、現時点で費用を積算することか困難である	—
	今までの耐震化の状況、旧耐震の改修工事の様子はどうか また、耐震改修した施設についてどのように使用していくか	耐震化プログラムによる改修の概要を記載しました。 施設の利用法は、今後、課題として整備部会で検討します	P7 2(2)イ
	グラフにタイトルと単位を明記すること	記載しました	P1～8
課題検討	これまでの一定の基準による整備から地域の状況に応じた整備について記載すること。	地域の施設として整備する旨を記載しました	P15 3(3)
	学校毎の特色をどのように出していくか記載すること	今後の検討する課題とし、「学びの改革」と整合を図るよう、報告書に整理しました	P20 3(6)
	改築、改修と中間的な整備方法があるが、記載すること	改築、改修については、課題として記載しました。今後、その他の整備方法について整備部会で手法等を整理します	P12 3(1)オ
	改築する施設に対し、温熱環境をどこまで整備するか。パッシブな手法、環境基準等	課題として整理し、今後、整備部会で検討します	P20 5(5)イ
	学校施設が災害時に地域の避難所となるだけでなく、生徒にとっても安全を確保する必要がある施設を明記する	防災施設として必要な機能として整理し、記載しました	P17 3(3)イ
	災害時にランチルーム等の整備は有効である。	避難所の箇所に多用途に利用できる空間として、記載しました	P17 3(3)イ
導入手法	地域開放の際の考え方、PFIの手法による財政負担軽減について記載すべき	導入手法について、いくつかの方法等を報告書に記載しています。	P18～19 3(4)
	施設の複合化はどこまで認めるのか。 施設間の親和性が必要	今後の整備部会で検討し、報告書に記載します	—
	建設や維持管理優先で、設計品質の確保が課題となる。 民間、公共、地域などPFIの提携先が重要	今後の整備部会で検討し、報告書に記載します	—
計画	個別施設計画との整合性の整理	個別施設計画の進捗状況について検討委員会のなかで報告し、同期させながら記載していきます	—